



# 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 極東証券株式会社  
 コード番号 8706 URL <http://www.kyokuto-sec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菊池 廣之

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員

(氏名) 高森 正雄

TEL 03-3666-5130

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

平成22年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,152	△31.4	4,080	△31.5	1,557	△53.0	1,545	△55.3	831	△61.7
22年3月期第2四半期	6,056	54.1	5,953	56.1	3,310	297.8	3,459	256.2	2,172	258.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	26.07	—
22年3月期第2四半期	68.11	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	53,830	30,900	57.4	968.61
22年3月期	54,153	31,473	58.1	986.68

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 30,900百万円 22年3月期 31,473百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	17.00	—	43.00	60.00
23年3月期	—	10.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

当社グループは、業績予想の開示を行っておりません。詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他（詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 32,779,000株 22年3月期 32,779,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 876,749株 22年3月期 880,749株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 31,902,164株 22年3月期2Q 31,898,356株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。なお、四半期財務諸表につきましては、この四半期決算短信開示時点において、四半期レビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、「3. 平成23年3月期の連結業績予想」に記載のとおり、業績予想の開示を行っておらず、したがって配当予想につきましても開示を行っておりません。ただし、その代替として、当社グループの配当基準日である期末または第2四半期末から起算して10営業日目を目処に、連結業績の速報値とあわせて、配当額を公表してまいります。

## ○添付資料の目次

定性的情報・財務諸表等 .....	2
1. 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
2. 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
3. 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
4. その他 .....	4
(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） .....	4
(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 .....	4
5. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
「参考資料」 .....	10
平成23年3月期第2四半期連結決算資料 .....	10
(1) 受入手数料 .....	10
(2) トレーディング損益 .....	10
「参考資料」 .....	11
平成23年3月期第2四半期決算資料 .....	11
(1) 株券売買高（市場デリバティブ取引を除く） .....	11
(2) 引受・募集・売上の取扱高 .....	11
(3) 自己資本規制比率 .....	11
(4) 役職員数 .....	11
「参考資料」 .....	12
連結損益計算書の四半期推移 .....	12

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月から9月までの6ヶ月間。以下、「当期」という。）におけるわが国経済は、海外経済の改善を背景とした輸出の増加等に支えられて緩やかな回復を迎えました。

株式市場は、景気回復期待から期初にかけては底堅く推移しましたが、5月以降は、ニューヨーク市場の急落、欧州財政危機に伴う世界経済の回復鈍化懸念及び円高の進行から下落基調に転じ、方向感に乏しい軟調な動きに推移しました。外国為替市場においては、不透明な国際経済情勢を反映したリスク回避の動きの高まりや欧米における一段の金融緩和の動きからほぼ一貫して円が買われる動きとなりました。

こうした環境の中、当社グループは、Face to Faceのビジネスモデルに立脚しつつ、お客さまの多様なニーズに応えるため、引き続き特色のある「旬の商品」の提供に努めました。しかしながら、株式市場の低迷等により株式関連収益が落ち込んだことから、当期の業績につきましては、営業収益41億52百万円（前年同期比68.6%）、純営業収益40億80百万円（同68.5%）、経常利益15億45百万円（同44.7%）、四半期純利益8億31百万円（同38.3%）となりました。

当期における収益等の内訳は次のとおりです。

#### (1) 受入手数料

受入手数料は7億円（前年同期比79.1%）となりました。内訳は以下のようになっております。

##### ① 委託手数料

株券委託手数料は、2億77百万円（同60.6%）にとどまり、これに債券委託手数料等を加えた「委託手数料」は、2億79百万円（同60.4%）となりました。

##### ② 引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

「引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料」は、案件が極めて少なかったことから、1百万円（前年同期は手数料計上なし。）にとどまりました。

##### ③ 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

「募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料」は、投資信託の取扱いの増加により、2億65百万円（同138.3%）となりました。

##### ④ その他の受入手数料

主に投資信託の代行手数料や投資銀行業務関連手数料からなる「その他の受入手数料」は、1億54百万円（同67.1%）となりました。

#### (2) トレーディング損益

株券等トレーディング損益は、前年同期極めて好調であった外国新株予約権付社債の販売が振るわなかったことから、3億61百万円の利益（前年同期比17.3%）と大幅に減少しました。また、債券等トレーディング損益につきましても、25億5百万円の利益（同95.0%）と微減となりました。この結果、これらにその他のトレーディング損益9百万円の利益（前年同期は66百万円の損失）を加えた「トレーディング損益」は、28億76百万円の利益（同61.7%）となりました。

#### (3) 営業投資有価証券損益

連結子会社（㈱FEインベスト）の「営業投資有価証券損益」は、1億89百万円の利益（前年同期は20百万円の損失）となりました。

#### (4) 金融収支

金融収益3億42百万円（前年同期比81.9%）から金融費用71百万円（同69.5%）を差し引いた「金融収支」は、2億70百万円（同85.9%）となりました。

#### (5) その他の営業収入

「その他の営業収入」は、連結子会社における手数料収入や不動産賃貸収入を中心に、42百万円（前年同期比38.2%）を計上いたしました。

#### (6) 販売費・一般管理費

「販売費・一般管理費」は、25億22百万円（前年同期比95.5%）を計上いたしました。

#### (7) 営業外損益

営業外収益は、受取配当金を中心に合計で64百万円（前年同期比38.8%）を計上いたしました。一方、営業外費用は、投資事業組合運用損等、合計で76百万円（同447.4%）を計上し、営業外収益から営業外費用を差し引いた「営業外損益」は11百万円の損失（前年同期は1億48百万円の利益）となりました。

#### (8) 特別損益

特別利益は、金融商品取引責任準備金の取崩しによる利益等4百万円（前年同期比39.2%）を計上いたしました。一方、特別損失は、投資有価証券評価損1億12百万円等、合計で1億43百万円（同16.2%）を計上し、特別利益から特別損失を差し引いた「特別損益」は、1億38百万円の損失（前年同期は8億68百万円の損失）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、538億30百万円（前連結会計年度末は541億53百万円）となり、3億22百万円減少しました。流動資産は、439億21百万円（前連結会計年度末は438億19百万円）となり、1億2百万円増加しました。主な要因としては、現金・預金の増加（116億34百万円から137億71百万円へ21億37百万円増）、トレーディング商品の増加（111億19百万円から116億28百万円へ5億8百万円増）があった一方で、営業投資有価証券の減少（84億56百万円から70億61百万円へ13億95百万円減）や預託金の減少（65億2百万円から54億89百万円へ10億12百万円減）が生じたことなどがあげられます。固定資産は、99億8百万円（前連結会計年度末は103億34百万円）となり、4億25百万円減少しました。これは、投資有価証券の減少（69億55百万円から65億74百万円へ3億80百万円減）等によるものであります。

### (2) 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、229億29百万円（前連結会計年度末は226億80百万円）となり、2億49百万円増加しました。流動負債は、221億66百万円（前連結会計年度末は217億95百万円）となり、3億71百万円増加しました。主な要因としては、短期借入金が増加（107億54百万円から147億80百万円へ40億25百万円増）した反面、未払法人税等の減少（23億91百万円から3億21百万円へ20億69百万円減）、信用取引負債の減少（14億7百万円から6億72百万円へ7億35百万円減）が見られたことなどがあげられます。固定負債は、7億41百万円（前連結会計年度末は8億58百万円）となり、1億16百万円減少しました。これは、退職給付引当金の減少（2億58百万円から2億4百万円へ54百万円減）等によるものであります。

### (3) 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、309億円（前連結会計年度末は314億73百万円）となり、5億72百万円減少しました。これは主に配当金支払いに伴う利益剰余金の減少（221億42百万円から216億1百万円へ5億40百万円減）によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

### 「業績予想を開示できない理由」

当社グループの営業収益は、証券市場に係る受入手数料収益及びトレーディング損益を柱としており、その大半が株式市場及び債券市場を源泉としております。株式市場関連収益の連結純営業収益に占める割合は、平成22年3月期が21.4%（受入手数料5.4%、トレーディング損益16.0%）、平成21年3月期が31.3%（受入手数料20.9%、トレーディング損益10.4%）と高い水準にあり、さらに、債券市場関連収益につきましては、トレーディング損益を中心に、平成22年3月期が67.0%、平成21年3月期が27.8%と、相当の割合に達しております。当社グループは、証券市場を核とした様々なビジネスに加え、投資銀行業務の強化を図るなど、収益源の多角化を通じて収益の安定性確保に努めてはおりますが、それでもなお、業績が証券市場の動向に左右される傾向が強く、株式・債券市況の好・不調によって、業績が大きく変動する可能性があります。加えて、当社は、Face to Faceのビジネス・モデルを堅持しつつ、お客さまの多様な資金運用ニーズに応えるため様々な金融商品を取り扱っており、その過程で、まとまった量の外貨建外国債券を保有することがあります。そのため、外国為替市場等の急激な変動により、非常に短い期間に多額の評価損益が発生する可能性も否定できません。

もとより、証券市場や外国為替市場は、内外の政治・経済情勢、企業収益、金利、税制等、様々な要因を反映して変動します。したがって、当社グループの業績を予想するためには、あらかじめこれら変動要因を的確に予測しつつ将来の市場動向を適正に把握する必要がありますが、それを実現することは、不可能に近いのが実情であります。さらに、投資銀行業務に関しても、収益につながる案件を事前にすべて予想することは、極めて困難であります。当社グループといたしましては、こうした多くの不確実な要因により予想と実績との間に大きな乖離が生ずる可能性の高い状況の中で、敢えて業績予想を開示することは、結果的に、市場に誤ったメッセージを送ることにつながりかねず、却って株主や投資者の皆さまの投資判断に悪影響を与え、公正な株価形成を阻害するおそれがあると思料します。

上述の理由から、当社グループは、業績予想の開示は行わず、その代替として業績数値の早期開示に努めることとし、連結業績の数値がほぼ確定すると考えられる期末または四半期末から起算して10営業日を目途に、当該数値を速報値として公表してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
資産除去債務に関する会計基準の適用

第1 四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	13,771	11,634
預託金	5,489	6,502
トレーディング商品	11,628	11,119
商品有価証券等	11,627	11,116
デリバティブ取引	0	3
約定見返勘定	340	227
営業投資有価証券	7,061	8,456
信用取引資産	4,857	4,824
信用取引貸付金	4,478	4,054
信用取引借証券担保金	379	770
その他の流動資産	839	1,056
貸倒引当金	△67	△2
流動資産計	43,921	43,819
固定資産		
有形固定資産	2,388	2,417
無形固定資産	62	67
投資その他の資産	7,457	7,849
投資有価証券	6,574	6,955
その他	959	971
貸倒引当金	△76	△76
固定資産計	9,908	10,334
資産合計	53,830	54,153
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	3	171
商品有価証券等	3	163
デリバティブ取引	—	8
信用取引負債	672	1,407
信用取引借入金	388	753
信用取引貸証券受入金	283	653
有価証券担保借入金	406	—
現先取引借入金	406	—
預り金	5,105	5,896
短期借入金	14,780	10,754
未払法人税等	321	2,391
賞与引当金	233	320
その他の流動負債	643	852
流動負債計	22,166	21,795

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債		
退職給付引当金	204	258
その他の固定負債	536	599
固定負債計	741	858
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	21	26
特別法上の準備金計	21	26
負債合計	22,929	22,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,251	5,251
資本剰余金	4,774	4,774
利益剰余金	21,601	22,142
自己株式	△862	△866
株主資本合計	30,765	31,302
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	135	171
評価・換算差額等合計	135	171
純資産合計	30,900	31,473
負債・純資産合計	53,830	54,153



(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業収益		
受入手数料	885	700
委託手数料	462	279
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	—	1
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	191	265
その他の受入手数料	231	154
トレーディング損益	4,662	2,876
営業投資有価証券損益	△20	189
金融収益	418	342
その他の営業収入	111	42
営業収益計	6,056	4,152
金融費用	103	71
純営業収益	5,953	4,080
販売費・一般管理費		
取引関係費	320	316
人件費	1,635	1,470
不動産関係費	266	267
事務費	266	264
減価償却費	45	45
租税公課	54	40
貸倒引当金繰入れ	—	64
その他	54	55
販売費・一般管理費計	2,642	2,522
営業利益	3,310	1,557
営業外収益		
受取配当金	55	45
外国税額控除	57	—
その他	52	19
営業外収益計	165	64
営業外費用		
匿名組合投資損失	13	—
投資事業組合運用損	—	71
その他	3	4
営業外費用計	16	76
経常利益	3,459	1,545

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	10	4
その他	1	0
特別利益計	12	4
特別損失		
営業投資有価証券評価減	819	—
投資有価証券評価損	48	112
その他	13	30
特別損失計	881	143
税金等調整前四半期純利益	2,590	1,407
法人税、住民税及び事業税	526	309
法人税等調整額	205	266
法人税等合計	731	575
少数株主損益調整前四半期純利益	—	831
少数株主損失(△)	△313	—
四半期純利益	2,172	831

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

平成23年3月期第2四半期連結決算資料

## (1) 受入手数料

## ① 科目別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減		前 期
			金 額	増減率 (%)	
委託手数料	462	279	△183	△39.6	813
(株券)	(457)	(277)	(△180)	(△39.4)	(806)
(債券)	(0)	(0)	(0)	(15.1)	(0)
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	—	1	1	—	2
(株券)	(—)	(1)	(1)	(—)	(1)
(債券)	(—)	(—)	(—)	(—)	(0)
募集・売出し・特定投資家向 け売付け勧誘等の取扱手数料	191	265	73	38.3	417
その他の受入手数料	231	154	△76	△32.9	586
合 計	885	700	△185	△20.9	1,820

## ② 商品別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減		前 期
			金 額	増減率 (%)	
株券	462	284	△178	△38.6	818
債券	1	1	0	35.4	2
受益証券	257	359	102	39.8	560
その他	164	55	△109	△66.2	439
合 計	885	700	△185	△20.9	1,820

## (2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減		前 期
			金 額	増減率 (%)	
株券等	2,093	361	△1,731	△82.7	2,406
債券等	2,636	2,505	△130	△5.0	10,105
その他	△66	9	76	—	△62
合 計	4,662	2,876	△1,785	△38.3	12,449

## 「参考資料」

平成23年3月期第2四半期決算資料

(1) 株券売買高 (市場デリバティブ取引を除く)

(単位: 百万株、百万円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率 (%)		前 期	
	株 数	金 額	株 数	金 額	株 数	金 額	株 数	金 額
合計	1,951	794,354	1,302	426,693	△33.3	△46.3	3,317	1,365,424
(委託)	(271)	(101,636)	(214)	(72,508)	(△20.9)	(△28.7)	(482)	(191,184)
(自己)	(1,680)	(692,718)	(1,088)	(354,184)	(△35.2)	(△48.9)	(2,835)	(1,174,240)
委託比率	13.9%	12.8%	16.4%	17.0%			14.5%	14.0%
東証シェア	0.31%	0.20%	0.24%	0.12%			0.28%	0.18%
1株当たり 委託手数料	1円59銭		1円22銭				1円55銭	

(2) 引受・募集・売上の取扱高

(単位: 百万株、百万円)

			前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	増減率 (%)	前 期
引受高	株 券	株 数	—	0	—	0
	〃	金 額	—	14	—	37
	債 券	額面金額	—	—	—	—
	コマーシャル・ペーパー および外国証券等	額面金額	—	—	—	—
募集・売出しの 取扱高 (注)	株 券	株 数	0	0	66.8	0
	〃	金 額	1,537	2,613	70.0	3,711
	債 券	額面金額	96	13,204	—	233
	受 益 証 券	額面金額	24,883	29,410	18.2	52,402
	コマーシャル・ペーパー および外国証券等	額面金額	1,267	—	—	1,617

(注) 売出高及び私募の取扱高を含む。

(3) 自己資本規制比率

(単位: 百万円)

		前第2四半期末	当第2四半期末	前 期 末	
基本的項目	(A)	30,057	28,785	28,381	
補完的項目	その他有価証券評価差額金(評価益)等	184	135	171	
	金融商品取引責任準備金	25	21	26	
	貸倒引当金	0	407	357	
	計	(B)	211	564	555
控除資産	(C)	10,548	14,882	15,113	
控除後自己資本	(A) + (B) - (C)	(D)	19,720	14,467	13,823
リスク相当額	市場リスク相当額	1,301	1,655	1,511	
	取引先リスク相当額	2,940	770	824	
	基礎的リスク相当額	1,368	1,979	1,948	
	計	(E)	5,610	4,405	4,283
自己資本規制比率	(D) / (E) × 100 (%)	351.5%	328.3%	322.7%	

(4) 役職員数

(単位: 人)

	前第2四半期末	当第2四半期末	前 期 末
役員	9	9	9
従業員	265	253	257

「参考資料」

連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前第2四半期	前第3四半期	前第4四半期	当第1四半期	当第2四半期
	21. 7. 1	21. 10. 1	22. 1. 1	22. 4. 1	22. 7. 1
	21. 9. 30	21. 12. 31	22. 3. 31	22. 6. 30	22. 9. 30
I 営業収益	2,609	6,915	2,325	2,006	2,145
1. 受入手数料	378	358	576	389	311
2. トレーディング損益	1,991	6,328	1,457	1,238	1,638
3. 営業投資有価証券損益	△19	△142	△20	186	3
4. 金融収益	232	294	244	166	175
5. その他の営業収入	27	75	67	25	17
II 金融費用	50	62	44	35	36
純営業収益	2,559	6,852	2,281	1,971	2,108
III 販売費・一般管理費	1,327	3,693	1,538	1,299	1,241
1. 取引関係費	171	2,508	272	145	170
2. 人件費	812	821	861	728	741
3. 不動産関係費	132	140	141	133	133
4. 事務費	138	128	131	134	130
5. 減価償却費	22	23	20	22	22
6. 租税公課	22	32	56	22	17
7. 貸倒引当金繰入れ	0	—	—	83	—
8. その他	26	37	54	28	26
営業利益	1,231	3,158	742	671	866
IV 営業外収益	88	88	78	50	17
V 営業外費用	5	1	5	66	13
經常利益	1,314	3,245	816	656	870
VI 特別利益	—	7	2	4	19
VII 特別損失	568	489	318	94	48
税金等調整前四半期純利益	745	2,763	500	565	841
法人税、住民税及び事業税	516	1,422	427	64	244
法人税等調整額	△133	△20	△198	189	76
少数株主損益調整前四半期純利益	—	—	—	311	520
少数株主損失(△)	△182	—	—	—	—
四半期純利益	545	1,362	271	311	520